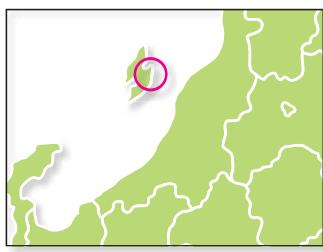


新潟県事業完了地域



DATA

エリア：国指定小佐渡東部鳥獣保護区
所在地：新潟県佐渡市（小佐渡東部地域）
事業実施期間：H18～H21

事業完了後の自然再生の取り組み状況

トキ保護増殖事業計画に基づき策定された「トキ野生復帰ロードマップ2025」において最終目標として示された「国内のトキが自然状態で安定的に存続できる状態となること」の実現に向け、引き続きビオトープの維持管理等、生息環境整備のための取り組みを行っています。
(R4.3現在)



長野県事業完了地域



DATA

エリア：八ヶ岳中信高原国定公園
所在地：長野県諏訪市、茅野市、下諏訪町
事業実施期間：H20～

事業完了後の自然再生の取り組み状況

協議会で「自然保全再生実施プラン」を策定し、モデル地区を設けて草原や樹叢の保全再生をすすめています。

(R4.3現在)

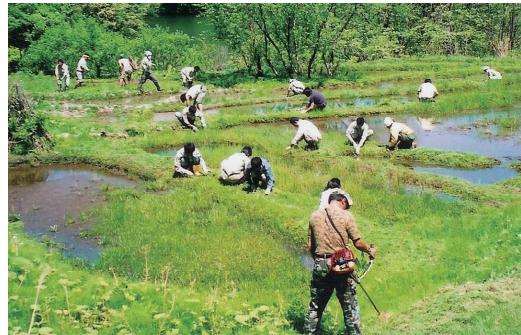


再生課題：トキの生息環境の確保

こさどとうぶ 小佐渡東部

再生目標

トキが野生定着できる自然環境（餌場・営巣・ねぐら）の再生を目指す。



自然再生の手法

- ▶ 通年でトキの餌場となる湿地等の整備
- ▶ 地域住民やNPO等の様々な主体が協働する仕組みづくり

事業の効果

関連する取り組みを含めた事業等により、2015年頃には小佐渡東部に60羽のトキの定着が確認されました。2018年には、佐渡島内で220羽の定着が確認されています。

ここに注目！ 地域住民主体による餌場保全

野生下のトキの個体数は順調に増えています。現在は、市とも連携し、地域住民主体で餌場となる水路やビオトープを維持管理しています。ビオトープではぬかるみも多く、草刈り機が使いにくい場所もあるため、手作業で草を刈ることもあり、多くの地域住民の協力が不可欠となっています。



再生課題：草原の再生

きりがみね 霧ヶ峰

再生目標

昭和30年代の霧ヶ峰高原にみられた草原植生・樹叢（樹林）の再生を目指す。



自然再生の手法

- ▶ ススキ・ササの刈り取りによる植生再生
- ▶ 外来植物の駆除
- ▶ 防鹿柵の設置による植生の保護

事業の効果

防鹿柵の設置により、植生保護効果が確認されました。現在は、地権者や市町、県が連携し、草原の保全再生活動を行っています。

霧ヶ峰では、標高1,500～1,900mに広大な半自然草原が広がっています。霧ヶ峰の草原は、昭和30年代まで採草地として利用されてきましたが、農業形態の変化等とともに草原管理が停止され、徐々に森林化などがすみました。また、霧ヶ峰は、ニッコウキスゲの群生地としても有名ですが、近年は、ニホンジカの採食影響が危惧されるようになりました。

このため、昭和30年代の霧ヶ峰にみられた植生の再生を目指して、草原・樹叢の保全再生をすすめています。

ここに注目！ 外来種駆除や優占種の選択的な刈り取り

オオハンゴンソウ等の外来植物の駆除や優占種の刈り取りを行っているほか、ニホンジカによる食害から保護するための防鹿柵の設置を官民協働で行っています。防鹿柵内では、柵外の約300倍のニッコウキスゲの開花が確認されており、多くの観光客に楽しめています。

